

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成27年度第3回定例会会議記録
開催日時	平成27年6月24日（水曜日）午後6時30分から8時30分まで
開催場所	柳沢公民館 第一学習室
出席者	委員：野間春二、馬場真由美、中曾根聡、石田裕子、武司一郎、廣田幸雄、瀬川容子、糸山時子、松嶋真、真鍋五十鈴、上田幸夫 職員：伊田館長、矢澤主幹、平井事業係長、小笠原分館長、長谷部分館長、水野分館長、鴨志田分館長、川口主任、保谷専門員、山本専門員、星野専門員、新堀専門員、神田園子（オブザーバー）
欠席者	委員：小林克彦、大野雅生、新藤浩伸
議題	議題1 平成27年度第2回定例会の会議録について 議題2 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連関係報告（委員会部会関係報告） （4）文化財保存・活用計画策定委員会報告 （5）公共施設の適正配置報告 （6）事業評価の報告 議題3 審議事項 （1）事業計画書・報告書について 議題4 協議・確認事項 議題5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 平成27年度第3回定例会次第 資料2 委員名簿 資料3 平成27年度第3回定例会開催通知 資料4 平成27年度第2回定例会会議録（案） 資料5 公民館主催事業計画書・報告書 資料6 ひばりが丘公民館臨時利用者懇談会次第・資料1・資料2 資料7 第27回谷戸まつり記録誌 資料8 平成27年度第3回公民館だより編集室会議録（要旨） 資料9 東京都公民館連絡協議会主催「岡山に学ぶ公民館に学ぶESDの取り組み」 資料10 公民館主催「夏休みこども講座」 資料11 西東京市公民館事業評価に係る諮問文、答申文、運用スケジュール、ツリー構造図、事業評価表（案） 資料12 公民館だより6月1日号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（3人） 無し
会議内容	
<p><b>議題1 平成27年度第2回定例会の会議録について</b> ・訂正事項なし</p> <p><b>議題2 報告事項</b> （1）行政報告 ○事務局： 1 5月28日（木曜日）午後、議会で全員協議会が開催された。合築複合化もテーマの一つとして取り扱われ、進捗状況、懇談会への取組の内容、市民会館、図書館、公民館の利用者に丁寧に対応しても</p>	

らいたいとの意見をいただいた。議員からの質問に対し、文化振興課、公民館、図書館、企画政策課で対応した。公民館に関して、これまで公民館運営審議会でのどのような説明を行ってきたか等の質問があり、4月、5月の公民館運営審議会で説明した旨、伝えた。

2 6月議会について、6月5日から6月22日までの会期で27年第2回西東京市議会定例会が開催された。8日から11日の本会議の一般質問では、公民館関連の質問として、合築複合化や、公共施設の適正配置計画に関する質問があった。主な質問として、図書館と公民館の役割とは何か、公民館と市民交流施設の施設貸し出しの違いは何か等があった。答弁として、公民館は、地域の実情に応じた多様な学習機会の提供や地域住民が気軽に集えるコミュニティのためのサービスを提供するなど身近な学習拠点、交流の場であることや公民館の施設貸し出しでは、主催講座から生まれた自主サークルに対して、学習機会の提供をするだけでなく、登録団体運営上の相談や資料提供、発表の場のコーディネートの役割を担うなど、市民の主体的な学びを支援することにより、地域づくりの視点を持って事業を運営しているとの説明を行った。

3 6月23日、教育委員会第6回定例会が開催された。公民館からは、平成26年度公民館事業実績報告を行った。定例会に先立って開催された協議会の場では、公共施設の適正配置計画、いわゆるひばりが丘公民館の問題について、臨時利用者懇談会を開催し、丁寧な説明に努めていく旨、報告した。

4 江藤教育長が6月30日付で退任することとなった。後任に教育庁地域教育支援部長の前田哲氏が着任する。

5 芝久保公民館では、6月13日、芝久保公民館まつり準備会を開催し、今年度も公民館まつりを開催することとし、実行委員長に加藤真理氏を選出した。同日、引き続いて、第1回実行委員会を開催し、11月21日（土曜日）、22日（日曜日）の二日間で開催することを決定した。テーマ等詳細は、次回以降の実行委員会で決定していく予定。

## (2) 公民館だより編集室報告

○事務局：

- ・平成27年度第3回公民館だより編集室会議録（要旨）に沿って、報告があった。

## (3) 都公連関係報告（委員会部会関係報告）

○委員：

・前回会議は、5月27日に狛江市中央公民館で開催された。6月の会議は、本日午後、狛江市中央公民館で開催された。都公連の役員会が5月13日開催された。委員部会から都公連に、未加盟または脱退した市に対し、研修会などの案内、情報提供をしたらどうかと申し入れをした。都公連からは、11月14日の第56回関東甲信越静公民館研究大会開催後に検討するとの回答であった。職員部会の研修会が、7月17日、「岡山市に学ぶ公民館によるESDの取り組み」をテーマに開催される。27年度委員部会の研修会を2回開催予定。第1回は、9月12日又は9月26日に実施の予定だが、講師、テーマ等は未定である。

・都公連の合同研修会を7月15日（水曜日）、午後2時から田無公民館で開催する。館長部会、委員部会及び11月14日開催の第56回関東甲信越静公民館研究大会の実行委員会を兼ねた職員部会が、合同で会議を開催する。開催趣旨は、関東甲信越静公民館研究大会に向けて、各市の役割やバックアップ体制等の依頼、大会準備の進捗状況の報告・確認である。合同会議後、各部会に分かれ、定例会議を行う予定である。

## (4) 文化財保存・活用計画策定委員会報告

○委員：

・5月27日、第1回文化財保存・活用計画策定委員会が開催された。委員会の行われた経緯について、昨年6月、西東京市文化財保護審議会から「西東京市における文化財保護のあり方について」という建議が出された。建議には3つのテーマがあり、1番目に西東京市文化財保護活用計画の策定、2番目に市の体制として独立した部署の設置と早期の施設整備、3番目に具体的な帆保護政策の継続的な実

施が挙げられた。それを受けて、今回、西東京市文化財保護活用計画の策定を行うことのため、委員会の招集があった。

・委員構成は、学識経験者2人、文化財保護審議会委員2人、公募市民3人、市職員2人、社会教育委員、図書館協議会、公民館運営審議会委員、文化芸術振興推進委員会委員等、全員で14人である。前回の会議を含め、計5回開催予定。来年の2月を目途に計画案を策定する予定。

・文化財に対する意識、下野谷遺跡の認知度等を調査するため、市民2,000人を抽出し、アンケートを実施している。

・第2回委員会は、7月29日に開催予定。アンケート結果を基に、計画案の具体的検討に入る予定である。

#### (5) 公共施設の適正配置報告

○事務局：

・公共施設の適正配置でひばりが丘公民館の問題については、4月、5月の公民館運営審議会での経緯についてお詫びするとともに、改めて丁寧な対応をすることの説明をさせていただいた。7月に予定しているひばりが丘公民館臨時利用者懇談会では、資料を基に、ひばりが丘公民館体制の見直しについて、これまでの経緯と今後の方針及びスケジュールを説明する。また、昨年度の臨時利用者懇談会において意見の挙がっていた分館長不在の危機管理体制の不安について、8月12日、危機管理室、西東京消防署と連携したひばりが丘公民館合同避難訓練を実施し、課題の検証を行うことの提案を予定している。

・臨時利用者懇談会も複数回実施し、丁寧な説明を心掛け、利用者からの意見については、公民館運営審議会にも報告しながら合意形成に努めたい。

○委員：

・臨時利用者懇談会の開催について、ひばりが丘公民館だけでなく、広く市民に周知してもらいたい。

○事務局：

公民館だより7月1日号に、開催案内を掲載するとともに、各公民館にポスターを掲示している。また、市のホームページにおいても開催案内を掲載させていただいた。

○委員：

・臨時利用者懇談会に専門員は、出席させるのか。

○事務局：

検討する。

○委員：

・これまでの見直しに至った経過や利用者から出た意見を資料として示してほしい。

○事務局：

資料を出す方向で検討する。

○委員：

・避難訓練では、責任者不在で想定しているのか。

○事務局：

責任者不在であることを想定で実施する。

○委員：

・スケジュールについて、利用者懇談会だけでなく、その後の段取り等を含めて示してもらいたい。

○事務局：

未定のことも多いが、示せるものは示すよう検討する。

(この問題は、公民館運営審議会で十分に時間をかけて検討した方がよい。)

○委員：

・条例、規則等の改正案文を示してほしい。

○事務局：

現在、改正案文は、検討中の段階である。改正案が固まったところで、示したい。

○委員：

・責任者が不在の公民館は、組織としてはあり得ないのではないか。

○事務局：

分室化後のひばりが丘公民館の責任者は、柳沢公民館長が担う。

○委員：

・スケジュールができていて、既に段取りが決まっているようで、納得できかねる。

回答：利用者懇談会での合意形成や公民館運営審議会への報告など手順を踏んだ上で、実施していきたい。

・これまで、このような組織の見直しなどでうまくいったケースでは、十分に資料を出し、丁寧に説明をしてきているケースである。事前に十分に資料を示し、丁寧な説明を心がけてもらいたい。

#### (6) 事業評価の報告

○事務局：

・西東京市公民館事業評価に係る諮問文、答申文、運用スケジュール、ツリー構造図、事業評価表(案)に沿って、説明。

・西東京市公民館事業評価のあり方については、平成22年に公民館運営審議会に諮問され、平成23年の公民館運営審議会からの答申に基づき実施している。

○委員：

・二次評価の欄で、英文字で「回答：ppro回答：ch」との表記が2箇所あるが、カタカナで「アプローチ」との表記でよいのではないか。

○事務局：

カタカナ表記に修正する。

○委員：

・事業評価は、立派なものができるが、評価よりも計画書の方が大切であると思われるが。計画がどう作られているかよくわからない。

○委員：

・評価は、次の計画を作るのに重要である。評価回答：改善回答：計画回答：実施回答：評価のサイクルが必要である。

○事務局：

個別事業計画は、事業方針、事業計画を受けて、個別事業計画を策定している。計画を立てるときには事業評価を反映するようにしている。

○委員：

- ・計画は、公民館運営審議会の審議事項だが、報告に近い形で運用してきたという感想を持っている。

○委員：

- ・資料をもらってから、内容を十分に検討する時間を取れずに審議会に臨んでいることから、報告に近い形になってしまっている。

○委員：

- ・審議を本当に十分に尽くそうとしたら、計画が入ったら毎日審議をやらなくてはならなくなる。大切なところ、記述を捉えてバランスなどをチェックすればよいのではないかと。我々委員は、これからは意識的に、大局的な視点や事業の本質論を重点に審議することが大切ではないだろうか。

○委員：

- ・公民館運営審議会が出た意見を事務局で受け止め、計画に反映させてほしい。

### **議題3 審議事項**

(1) 事業計画書・報告書について

平成27年度公民館主催事業企画書（4件）、平成27年度公民館主催事業報告書（1件）、平成26年度公民館主催事業報告書（4件）

（事業計画書）

【ひばりが丘】

「地域の高齢化を考える講座 イキイキンニアになるためのコツとワザ」

【保谷駅前】

「第7回保谷駅前公民館ジョイントコンサート」

【芝久保】

「平和を考える講座 今、伝え続けること」

【谷戸】

「幼い子を持つ母親の講座 子育てコーチング」

○委員：

- ・事業計画策定に当たって、事業目的のバランスを取っているのか、それとも重点事業目的を決めて実施しているのか。

○事務局：

バランスを取って事業展開している。

○委員：

- ・事業区分に新規・継続の記載があるが、継続の意味は、何か。

○事務局：

当事業のテーマは前年度から継続しているシリーズだが、事業内容は、年度ごとに独立して企画している。主催事業に関連して立ち上げたサークルを支援している。

○委員：

- ・立ち上げたサークルの男女比は

○事務局：

女性の比率が高く、約8割を女性が占めている。

○委員：

- ・夏休み子ども講座について、是非学校へ周知をしてもらいたい。学校との連携が大事である。
- ・チラシが片面刷りであるが、裏面に各公民館の所在地図を載せる工夫をしてはどうだろうか。

○事務局：

意見を参考に改善する。

○委員：

・事業計画書がこの時期としては、少ないようだが、公民館予算が大きく削られていることによるものなのか。

○事務局：

事業予算が、多少減っているものの大きく減っているわけではない。例年、この時期に事業計画提出が集中していたものが、分散化したものと考えている。

(報告書)

【ひばりが丘】

「親子講座 親子で音に合わせて楽しくリトミック」

【芝久保】

「小さな展示会」

【谷戸】

「農業を知る講座」

【田無】

「あめんぼ青年教室」

「ロビー企画」

**議題4 協議・確認事項**

なし

**議題5 事務連絡及び情報交換**

- ・委員名簿の連絡先等の確認。
- ・東京都公民館連絡協議会主催の職員研修「岡山に学ぶ公民館に学ぶESDの取り組み」についての申込は、谷戸公民館で担当。

・次回の日程について

・平成27年度第4回定例会 7月22日（水曜日）午後6時30分から  
於：柳沢公民館 第1学習室

以上